

「ひびみつけ」 編集操作マニュアル Ver 1.1



更新履歴

Version	主な更新内容	更新日
1.0	初版	2025/01/28
1.1	検査一覧画面、検出結果(未注文)画面のデザイン変更	2025/05/21

0 はじめに

0章.はじめに

「ひびみつけ」は、以下の機能を有するソフトウェアです。

A.コンクリート画像を「自動合成」し、AIがひびわれ箇所を「自動検出」
 B.構造物の実寸を入力することでひびの幅/長さを「自動測定」
 C.任意の幅/長さでのひび表示非表示・ひび追加削除等の編集機能

0. はじめに

編集後、必要な以下の3つ出力形式を何度でも出力可能です。

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

①合成画像(JPEG)



・合成画像
・ひびわれ付き合成画像

②CAD(DXF)



ひびわれCADデータ

③ひびの数量表(XLS)

ひび割れラベル番号	ひび割れの幅(代表値)(mm)	ひび割れの長さ(mm)
1	0.15	88.23
2	0.1	58.72
3	0.11	81.13
4	0.07	18.18
5	0	11.61
6	0.17	40.5
7	0.13	25.31
8	0.1	209.84

ひびわれ長さ/幅の積算表

また、「ひびみつけ」は橋梁点検業務・橋梁診断業務の標準特記仕様書様式に対応しており、出力形式として選択することが可能です。

※標準特記仕様書様式はAIが検出した結果をそのまま出力する仕様のため上記C.の編集操作の結果は無効になります。

0 はじめに

0章.はじめに

本書は、画像アップロード後のひびみつけソフトウェア操作について説明します。正しい出力結果を得るために、本書記載のフローで処理いただくことをお勧めします。

※合成については、別紙の「ひびみつけ」合成チェッカーマニュアルをご参照ください。

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

1. 購入手続きを行います。

画像アップロード後に処理が完了すると、検査一覧画面の状態が処理完了となります。

この処理完了になっているオーダーを選択して「検出結果確認」ボタンを押すか、ダブルクリックをしてください。

社会インフラ画像診断サービス ひびみつけ

コンクリートひび検出 検査一覧画面

5月度課金額

検査名称 区分 更新／絞り込み

検出結果確認

検査一覧 174 件

番号	名称	区分	状態	作成者	作成日時
00001	橋梁サンプル		処理完了	user1	2024/12/03 15:3
00002	1176_無名橋273		処理完了	user1	2024/10/08 13:3
00003	1175_無名橋272		処理完了	user1	2024/10/08 13:3

0 はじめに

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

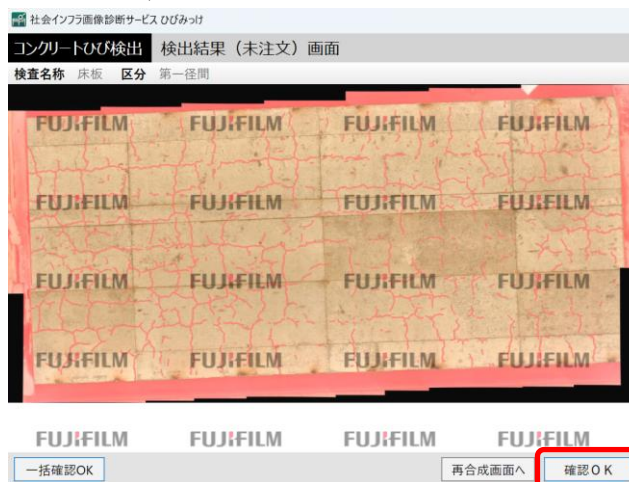
5. 番号整列

6. 結果出力

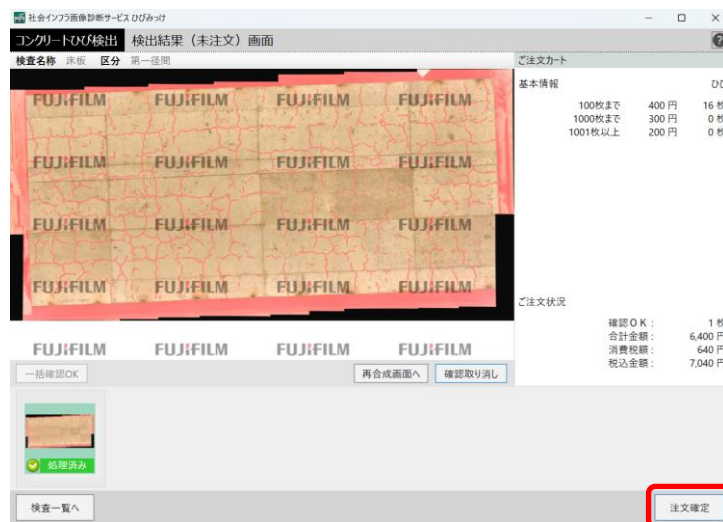
7. 操作ヒント

0章.はじめに

2. 検出結果(未注文)画面が表示されるので、右下の「確認OK」ボタンを押します。
※合成が出来ているか、損傷検出ができていますかをご確認ください



3. 枚数・金額が表示されるので問題なければ、右下の「注文確定」を押します。
※このボタンを押すまでは費用は掛かりません



0 はじめに

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

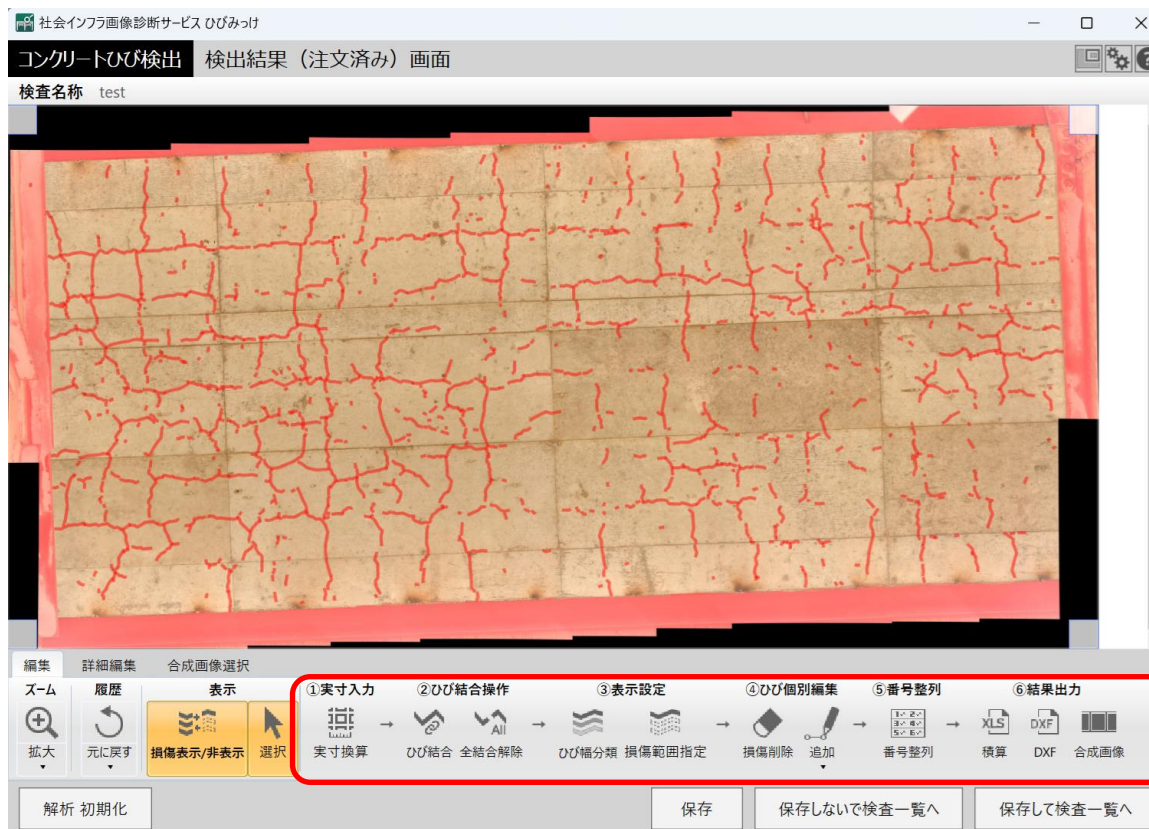
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

0章.はじめに

4. 「検出結果(注文済み)画面」が表示されるため、
編集パネル（赤枠）の示す手順（①～⑥）に沿って、実施します



0章.フローチャート（通常）

※必須操作

0 はじめに

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

1.実寸入力※

対象物の大きさを入力します

2.ひび結合操作

近くのひびわれを自動的に結合します

3.表示設定

ひび幅毎にひびわれ線の色を変更したり、
短い・細いひびわれの表示設定をします

4.ひび個別編集

不要なひびわれの削除、ひびわれの追加作業、
ひびわれ1本毎の結合や解除の作業をします

5.番号整列※

ひびわれを画面左上から順に
番号の振り直しをします

6.結果出力※

ひびみつけからデータの出力をします

0章.フローチャート（標準特記様式）

0 はじめに

国交省標準特記仕様書様式での出力は、
編集状態を反映しないことが要件となっているため、
1.実寸入力 → 6.結果出力
というフローで処理を実施してください。

※必須操作

0. はじめに

1. 実寸入力

1.実寸入力※

対象物の大きさを入力します

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

6.結果出力※

ひびみつけからデータの出力をします

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

1

実寸入力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

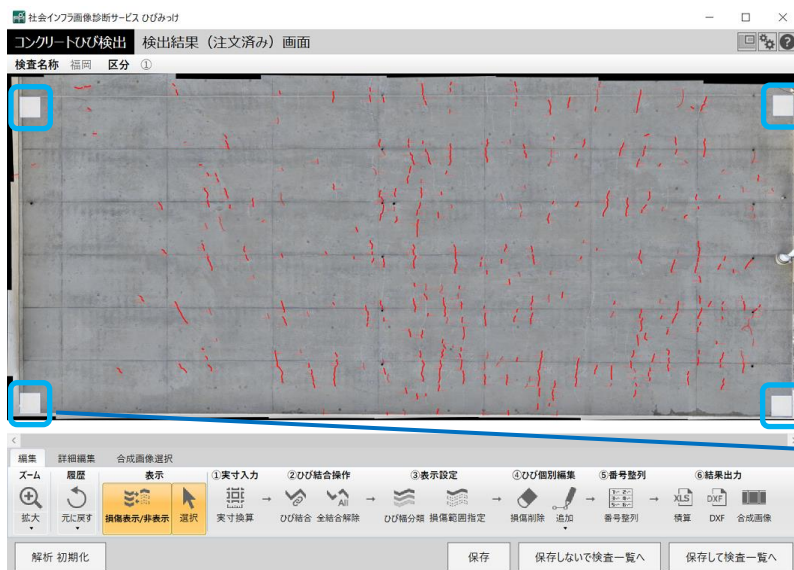
7. 操作ヒント

1章.実寸入力

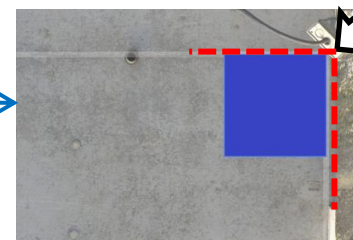
処理をした直後は、対象物の大きさが不明であるため、ひびの長さやひび幅が正確に表示されていません。
本章で説明する実寸入力の作業をして頂くことで、ひびの長さやひび幅が正確に表示されるようになります。

！！注意！！この作業は必ず実施してください！！

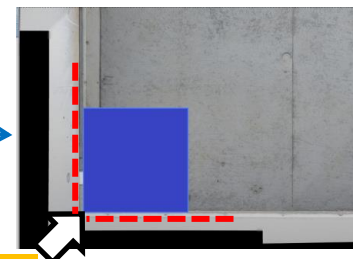
1. 四隅にある□マークを、実際の大きさの分かる範囲（矩形：くけい）に合わせてください。なるべく大きい範囲を入力させると誤差が少なくなります。



□マークは外枠を目安に指定してください



外枠



外枠

1 実寸入力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

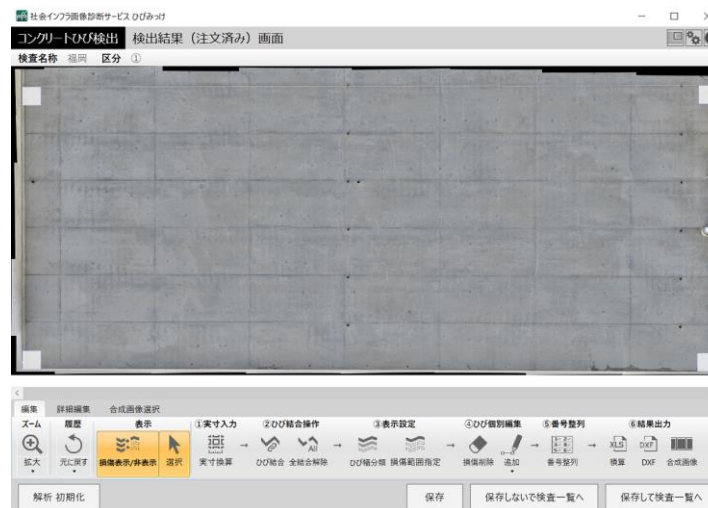
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

1章.実寸入力

このとき、キーボードの「F3」キーを押すと、すべての損傷が非表示になりますので、操作がしやすくなります。



2. 四角の範囲を指定したら、「実寸換算ボタン」を押して、実際の縦・横の長さを入力して、最後に「再計算」を押してください。



撮影時の解像度が分かる場合は、ピクセルスペーシングを直接、入力する方法もあります

2 ひび結合操作

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

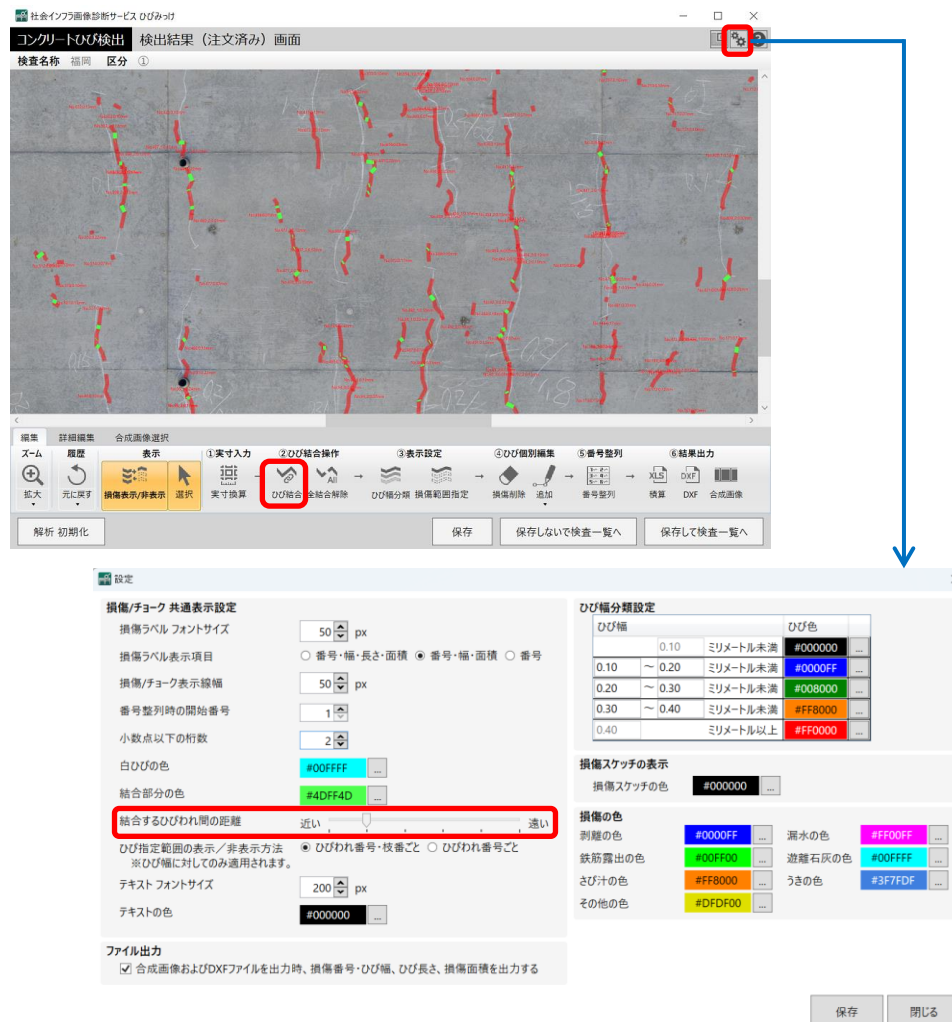
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

2章.ひび結合操作

1. 近くのひびわれを自動的に結合します。
画面右上の設定ボタンより、結合するひびわれ間の距離を調整できます。
※1本のひびわれが細切れに短く検出された場合に実施することを想定している操作です。必要な場合のみ、ご使用ください。



3

表示設定

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

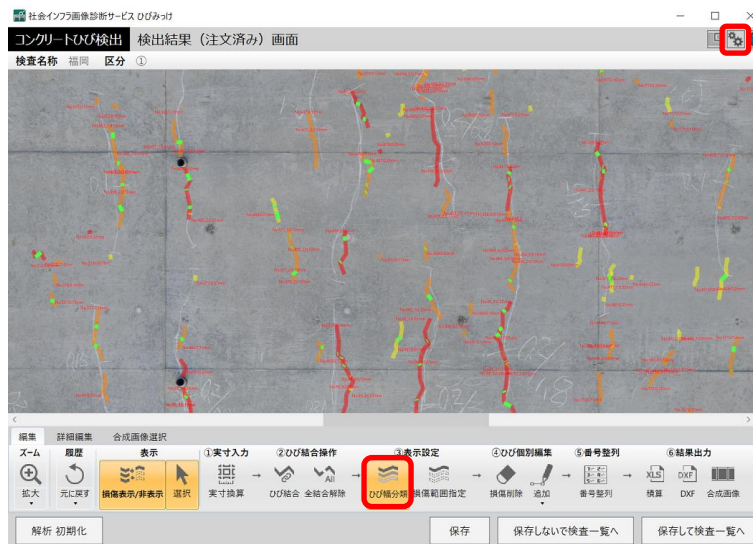
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

3章.表示設定

1. ひび幅毎にひびわれ線の色を変更します。
ひび幅の閾値(しきいち)変更やひびわれ線の色設定は、画面右上の設定ボタンで変更できます。



3 表示設定

3章.表示設定

2. 結合してもなお、短い・細いひびわれが多数表示されている場合は、必要に応じて表示するひびわれを指定することができます。
(例：ひび幅0.1mm以下、ひび長さ5cm以下のひびわれを非表示にする)

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

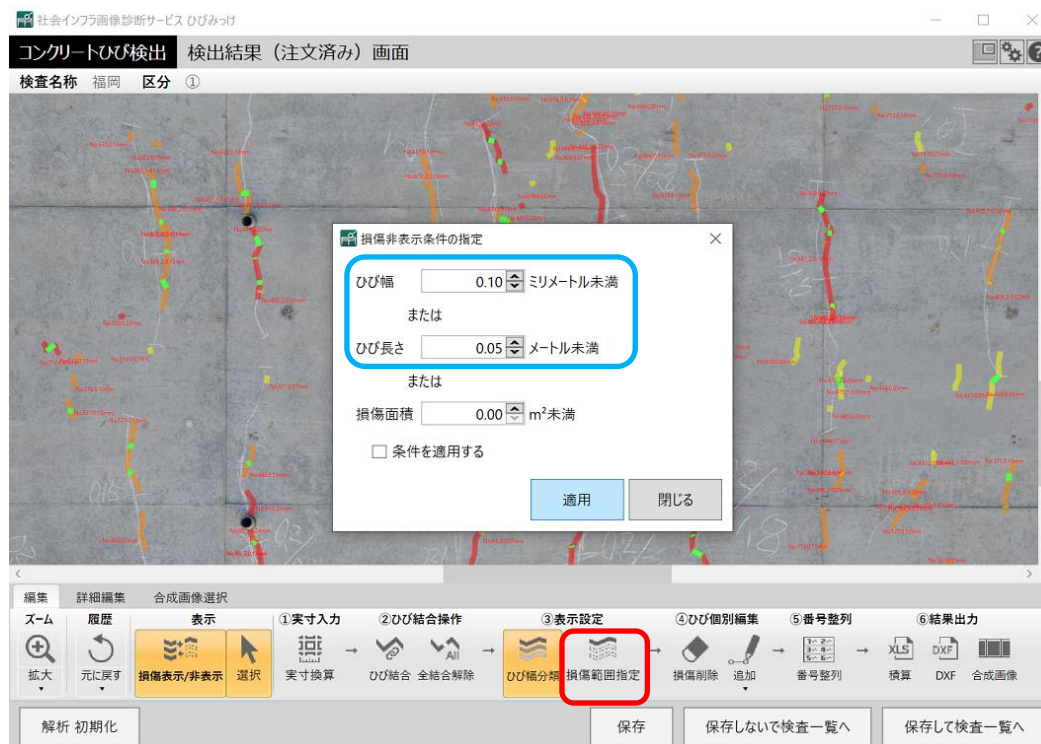
3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント



4

ひび個別編集

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

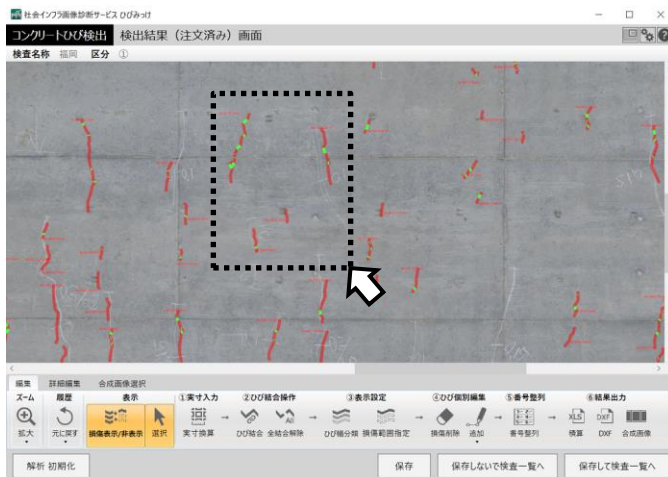
6. 結果出力

7. 操作ヒント

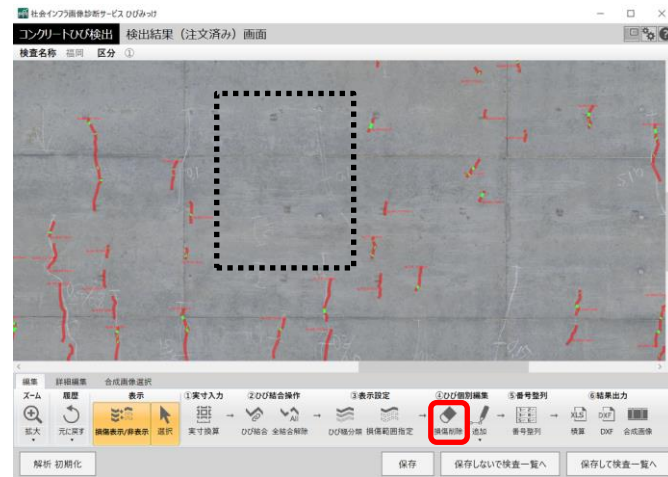
4章-1.ひび個別編集（削除）

1. 不要なひびわれや誤検出したひびわれを削除することができます。
個別にひびわれを選択して「損傷削除」ボタンを押すか、
キーボードの「DEL」キーを押すことで削除できます。
「Shift」キーを押しながら範囲指定して、まとめて削除すると便利です。

Shiftキーを押しながら、領域を指定する



「損傷削除」ボタン or DELキーを押す



※誤って削除してしまった場合は、画面下の「元に戻す」を押下すると削除前に戻ります。

4

ひび個別編集

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

4章-2.ひび個別編集（追加）

2.「追加」ボタンで、手動でひびわれを書き加えることができます。



追加が終わると、ひび幅を入力するダイアログが表示されるため、ひび幅を入力してください。

※ひび長さは、実寸入力の値を元に、自動で入力されます。



4

ひび 個別編集

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

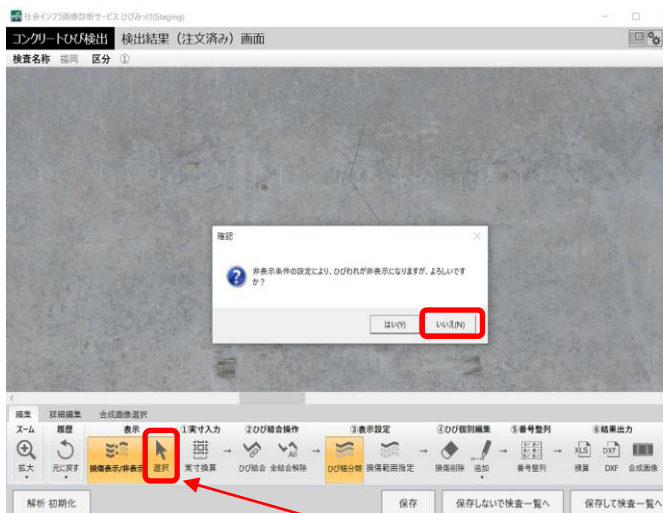
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

4章-2.ひび個別編集（追加）

もし、損傷範囲指定により、追加したひびわれが非表示条件になった場合は、警告メッセージが表示されるため、「いいえ」を押して、再度、ひび幅、ひび長さを入力し直してください。



※ひび追加作業を終了させたい場合は、画面下の「**選択**」を押下するとカーソルの「**+**」が通常のカーソルに戻ります。

4 ひび個別編集

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整理

6. 結果出力

7. 操作ヒント

4章-3.ひび個別編集（連結）

■「詳細編集」タブでの操作となります。

3. 個別にひびわれを結合させることも可能となっています。
2つのひびわれを選択して（Ctrlボタンを押しながらひびわれを選択します）
「ひび部分結合」ボタンを押します。



2つのひびわれを選択して、
「ひび部分結合」ボタンを押す

黄緑色で表示されている箇所が連結部分

4 ひび個別編集

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整理

6. 結果出力

7. 操作ヒント

4章-4.ひび個別編集（解除）

■「詳細編集」タブでの操作となります。

4. ひびわれの結合を解除させることも可能です。
解除したいひびわれを選択して、「結合解除」ボタンを押します。



5 番号整列

5章.番号整列

必ず、「番号整列」ボタンを押してください。
編集後表示しているひびわれのみで番号を振り直します（画面左側から順に）。

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

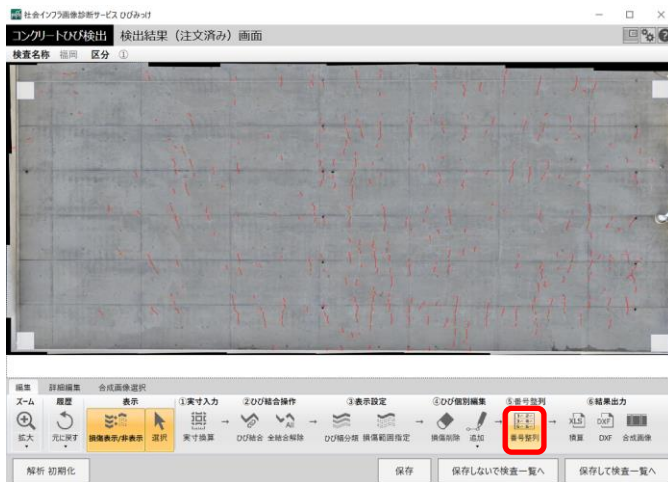
3. 表示設定

4. ひび個別編集

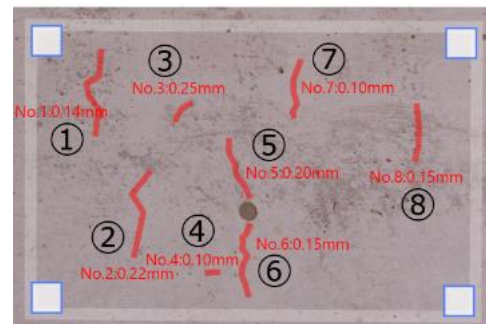
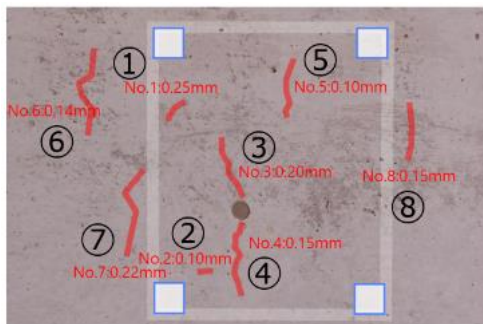
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント



もし、出力範囲を調整したい場合は、四隅の□マークの枠を調整した上で、再度、番号整列のボタンを押してください。
この出力範囲に合わせて、番号を発番し直します。



6

結果出力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

6章.結果出力

「ひびの数量表(XLS)」・「CAD(DXF)」・「合成画像(JPEG)」の出力をします。

1. 「ひびの数量表(XLS)」

ひびの1本ごとの幅・長さ情報などをエクセル形式で出力

2. 「CAD(DXF)」

指定したひび幅ごとのCADデータをDXF形式で出力

3. 「合成画像(JPEG)」

合成画像にひびわれ検出結果をつけてJPG形式で出力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

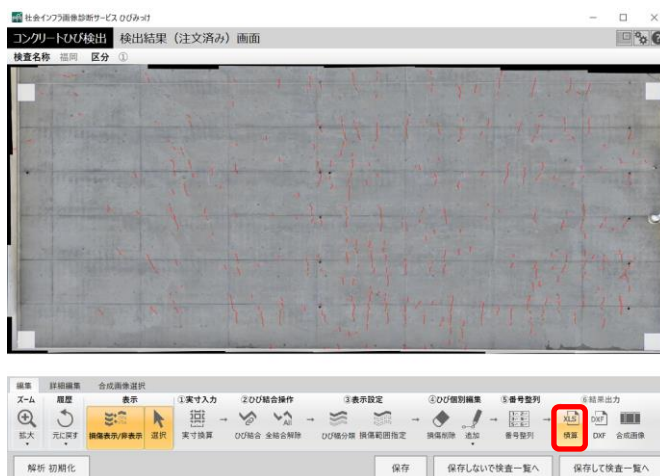
7. 操作ヒント

6章.結果出力

1. ひびの数量表(XLS)

「積算」ボタンを押して、ひびの数量表を出力します

※剥離・鉄筋露出・漏水・遊離石灰検出を実施している場合は、
そちらもあわせて出力されます



ひび積算情報

ひびわれ

ひび幅	ひび長さ積算
0.10 ミリメートル未満	0.00m
0.10 ～ 0.20 ミリメートル未満	0.00m
0.20 ～ 0.30 ミリメートル未満	0.00m
0.30 ～ 1.00 ミリメートル未満	0.23m
1.00 ミリメートル以上	0.00m

剥離・鉄筋露出・漏水・遊離石灰

面積積算	面積積算
漏水	0.35㎡
さび汁	0.00㎡

ひびわれ座標の出力設定

Excel出力 閉じる

もし、出力範囲を調整したい場合は、四隅の□マークの枠を調整した上で、再度、番号整列のボタンを押してください。
この出力範囲に合わせて、番号を発番し直します。

6

結果出力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

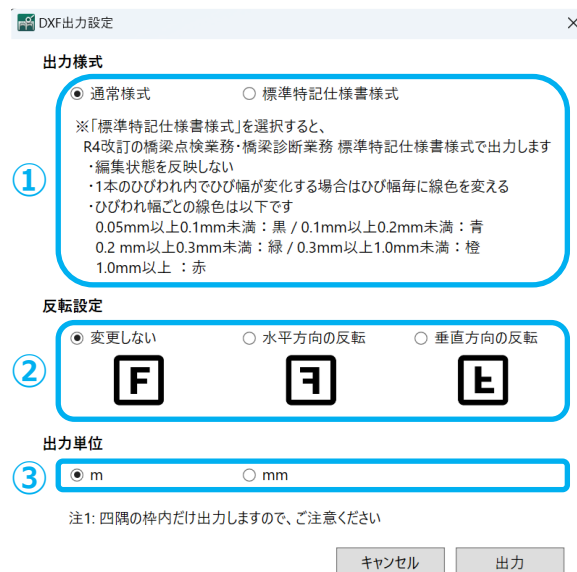
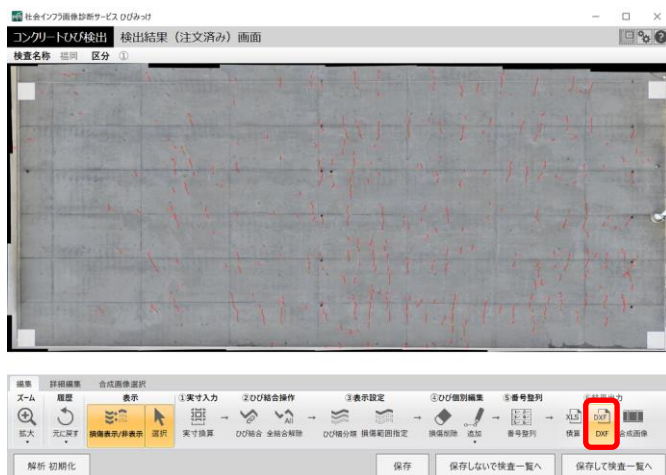
6. 結果出力

7. 操作ヒント

6章.結果出力

2. CAD(DXF)

「DXF」ボタンを押してDXFデータを出力します



- ① R4改定の橋梁点検業務・橋梁診断業務の標準特記仕様書形式で出力する場合は、標準特記仕様書様式を選択してください。
- ② 縦長の画像は、水平方向の反転を選択すると、見下げ図となります。
横長の画像は、垂直方向の反転を選択すると、見下げ図となります。
- ③ DXFの単位系を選択することができます。

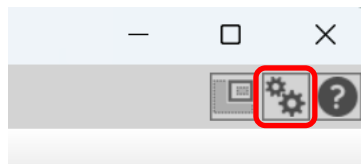
※ DXFは、実寸入力された縦横比に合わせて補正されたデータが出力されます。

6

結果出力

6章.結果出力

「DXF」ファイルに、ラベル・ひび幅を表示させたくない場合は、編集画面右上の設定にて以下のチェックボタンを外して、再度DXF出力をお願いします。



0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

6 結果出力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

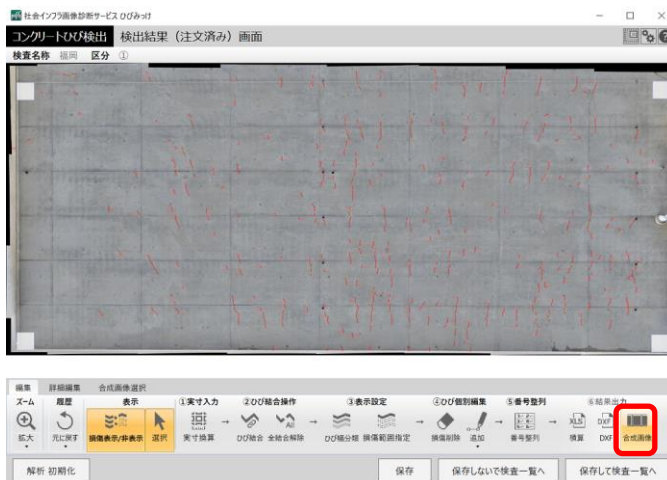
6. 結果出力

7. 操作ヒント

6章.結果出力

3. 合成画像(JPG)

「合成画像」ボタンを押して、「合成画像」と「損傷検出合成画像」を出力します



実寸入力した値の縦と横の比率に合わせて、
画像を変形（補正）する場合は、
「はい」を選択してください。

※ DXFは、実寸入力された縦横比に合
わせて補正されたデータが出力されます。

6

結果出力

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整理

6. 結果出力

7. 操作ヒント

6章.結果出力

合成画像出力設定

出力様式

① ☒ 通常様式 ☐ 標準特記仕様書様式

※「標準特記仕様書様式」を選択すると、
R4改訂の橋梁点検業務・橋梁診断業務 標準特記仕様書様式で出力します
・編集状態を反映しない
・1本のひびわれ内でひび幅が変化する場合はひび幅毎に線色を変える
・ひびわれ幅ごとの線色は以下です
0.05mm以上0.1mm未満：黒 / 0.1mm以上0.2mm未満：青
0.2 mm以上0.3mm未満：緑 / 0.3mm以上1.0mm未満：橙
1.0mm以上：赤

DXFマーク出力（あおり補正適用時のみ）

② ☒ 出力する ☐ 出力しない

※CAD上でDXFとの位置合わせするための
十字のマーク（画像の左下・右上）を出力します

反転設定

③ ☒ 変更しない ☐ 水平方向の反転 ☐ 垂直方向の反転

出力サイズ

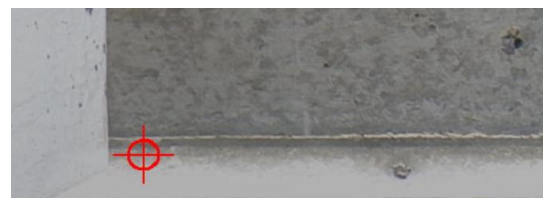
④ ☒ 実際のサイズ（2049MB） ☐ 中（228MB）
撮影画像の画質のまま出力します 撮影画像の1/9サイズで出力します
☐ 大（513MB） ☐ 小（129MB）
撮影画像の1/4サイズで出力します 撮影画像の1/16サイズで出力します

※出力画像の長辺が65,000[画素]を超える場合は、PNG形式で出力します

キャンセル 出力

① 国交省標準特記仕様書様式で出力する場合は、「標準特記仕様書様式」を選択してください。

② CADソフトで、
合成画像とDXFファイルと合わせる場合は、「出力する」を選択してください。
DXFファイルと位置合わせをするための
目印を合成画像に出力します



③ 縦長の画像は、水平方向の反転を選択すると、
見下げ図となります。
横長の画像は、垂直方向の反転を選択すると、
見下げ図となります。

④ 画質を落として出力することもできます

7

操作ヒント

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章.操作ヒント

この章では、ひびみつけソフトウェアを操作していく中での「注意点」や「便利な機能」について、ご紹介します。

7-1. 平行四辺形形状の実寸入力

7-2. 実寸入力と出力領域

7-3. 名称・区分名の変更

7-4. ひび幅代表値設定の変更

7-5. 損傷表示設定

7-6. 詳細編集パネル

7-7. ショートカットキー

7-8. お問い合わせ

7章-1. 平行四辺形形状の実寸入力

実寸入力の四隅の□マークは長方形形状に配置するのが一番精度が出ます。
また、煽り補正をかけると長方形に補正が掛かるようになっています。
そのため、平行四辺形形状の対象物であっても、長方形形状にして四隅の□マークを合わせて頂くことをお勧めします。

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

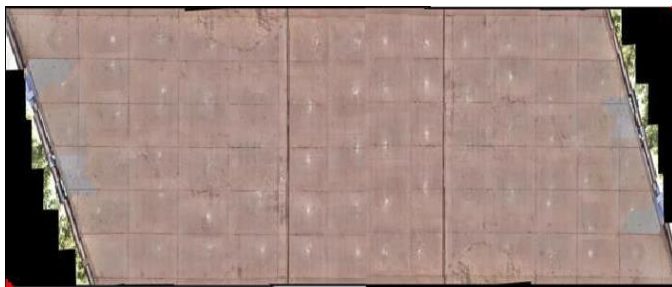
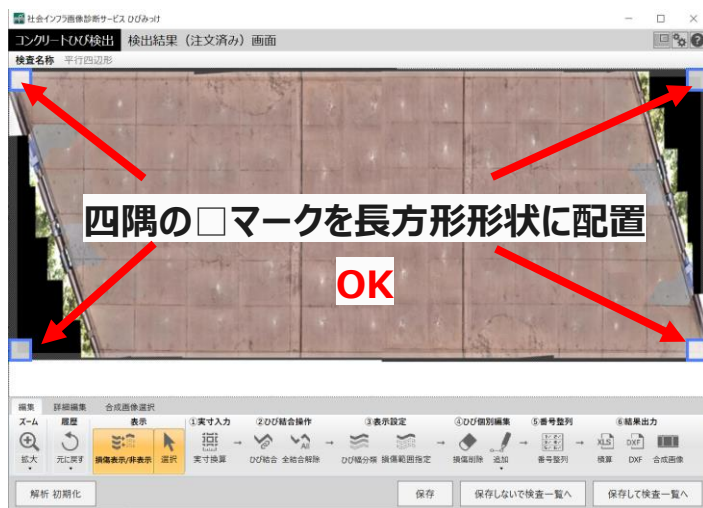
3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント



0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

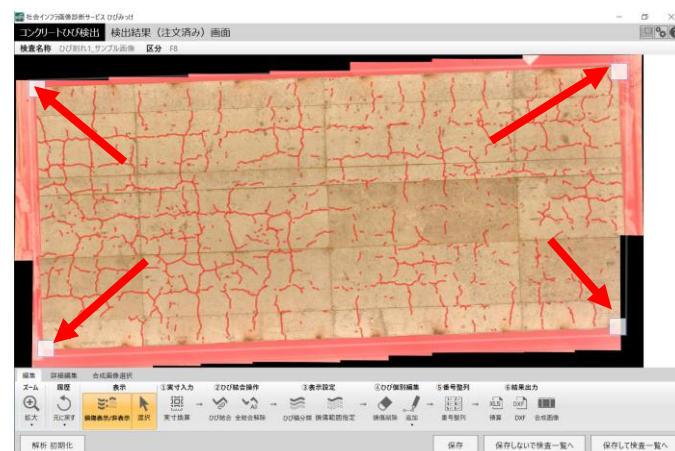
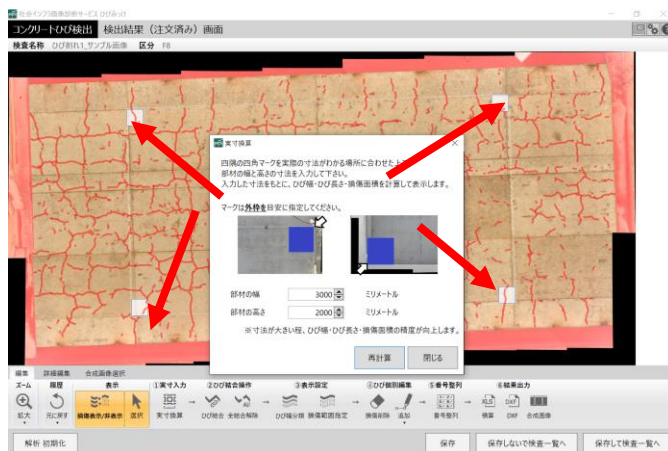
6. 結果出力

7. 操作ヒント

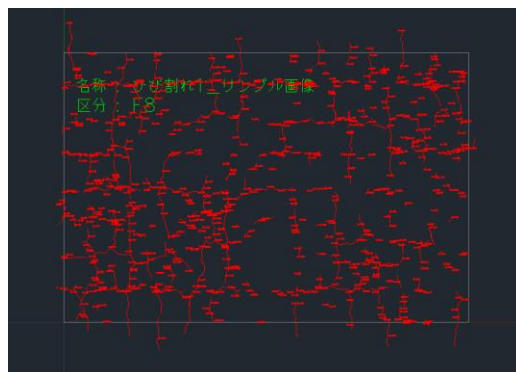
7章-2. 実寸入力と出力領域

実寸換算後、四隅の□マークを動かすことで出力範囲を設定することができます

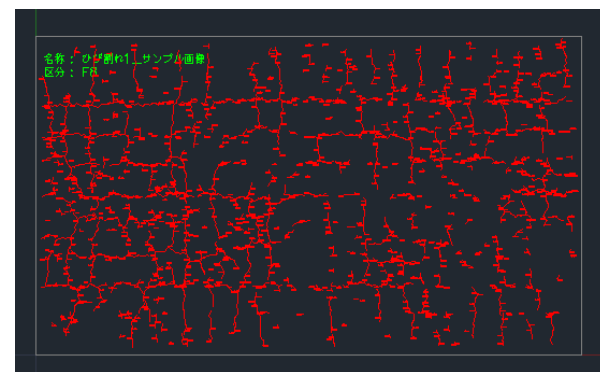
実寸入力後に四隅の□マークを移動



四隅の範囲しか出力されない



全体が出力



0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-3. 名称・区分名の変更

注文が未確定のオーダーに限り、名称・区分名の変更を行うことができます。

変更したいオーダーを選択します

社会インフラ画像診断サービス ひびみっけ

コンクリートひび検出 検査一覧画面

5月度課金額 : [¥ 0] user1▼ お知らせ ?

検査名称 区分 更新／絞り込み

検査一覧 174 件

番号	名称	区分	状態	作成者	作成日時	注文確定	保存期限	抽出種別
00001	橋梁サンプル		処理完了	user1	2024/12/03 15:41	未確定	2025/02/01 15:41	ひび

右クリックから、「名称・区分名の変更」ボタンを押します

社会インフラ画像診断サービス ひびみっけ

コンクリートひび検出 検査一覧画面

5月度課金額 : [¥ 0] user1▼ お知らせ ?

検査名称 区分 更新／絞り込み

検査一覧 174 件

番号	名称	区分	状態	作成者	作成日時	注文確定	保存期限	抽出種別
00001	橋梁サンプル		処理完了	user1	2024/12/03 15:41	未確定	2025/02/01 15:41	ひび

削除
アップロード中止
名称・区分名の変更
全体画像ダウンロード

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-3. 名称・区分名の変更

変更したい検査対象名と区分を入力し、「設定」を押します


名称・区分名の変更

×

検査対象名:

区分:

設定

閉じる



名称・区分名が変更されます

社会インフラ画像診断サービス ひびみっけ

コンクリートひび検出

検査一覧画面

5月度課金額 : [¥ 0]

user1▼

お知らせ

検査名称

区分

更新／絞り込み

検出結果確認

チェッカーアップロード

画像アップロード

検査一覧 174 件

番号	名称	区分	状態	作成者	作成日時	注文確定	保存期限	抽出種別
00001	床板	第一径間	処理完了	user1	2024/12/03 15:41	未確定	2025/02/01 15:41	ひび

7

操作ヒント

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

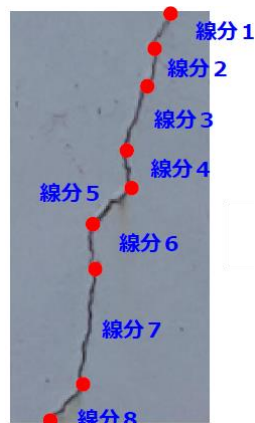
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-4. ひび幅代表値設定の変更

ひび幅は1本のひびわれの中でも計測場所によって変わるため、ひびみっけは『ひび幅を代表値』で表示しています。
※ひび幅の代表値は以下のルールで設定しています。



①線分毎にひびわれの「幅」・「長さ」を取得

線分	幅	長さ
1	0.25mm	10mm
2	0.16mm	10mm
3	0.15mm	30mm
4	0.12mm	10mm
5	0.2mm	20mm
6	0.18mm	10mm
7	0.2mm	50mm
8	0.19mm	10mm

②ひび幅を「幅順」に並べ替え
また、ひびの「総延長」を求める

線分	幅	長さ
4	0.12mm	10mm
3	0.15mm	30mm
2	0.16mm	10mm
6	0.18mm	10mm
8	0.19mm	10mm
5	0.2mm	20mm
7	0.2mm	50mm
1	0.25mm	10mm

細
↓
太

③ひび幅が太い方から総延長の
「20%」目を代表ひび幅に設定

総延長：150mmの
「20%」で30mm
太い方から30mmは
「0.2mm」：代表ひび幅

ひびの総延長：150mm

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

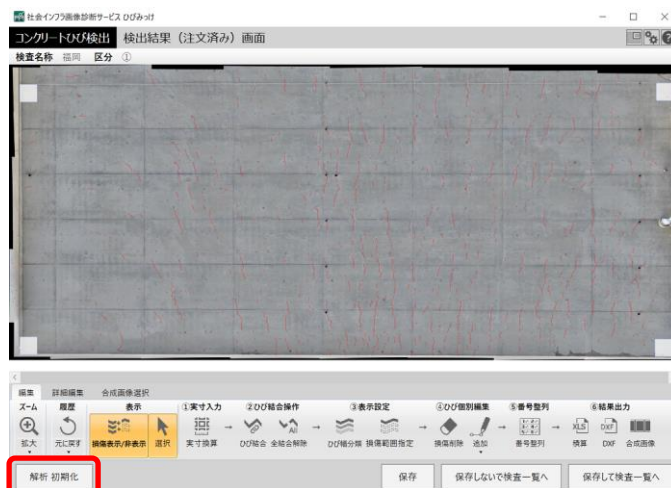
6. 結果出力

7. 操作ヒント

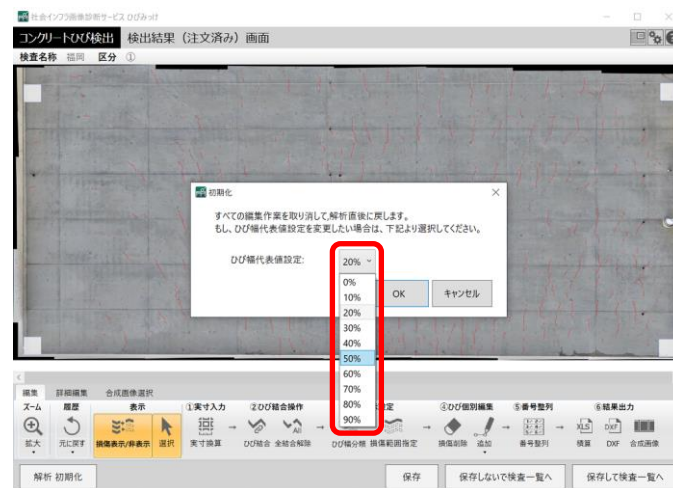
7章-4. ひび幅代表値設定の変更

ひび幅代表値の設定を、注文確定後にも変更することができます。
代表値は初期値が「20%」になっていますが、
太く感じる場合は値を大きく、細く感じる場合は値を小さく設定してください。
※あばたなどがあつた場合に、ひび幅がその値になってしまうことを避けるために、
初期値としては、20%と設定しています。
ご使用現場での状況に合わせて設定変更をしてください。

「解析 初期化」ボタンを選択する



ひび幅代表値を選択します



7

操作ヒント

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

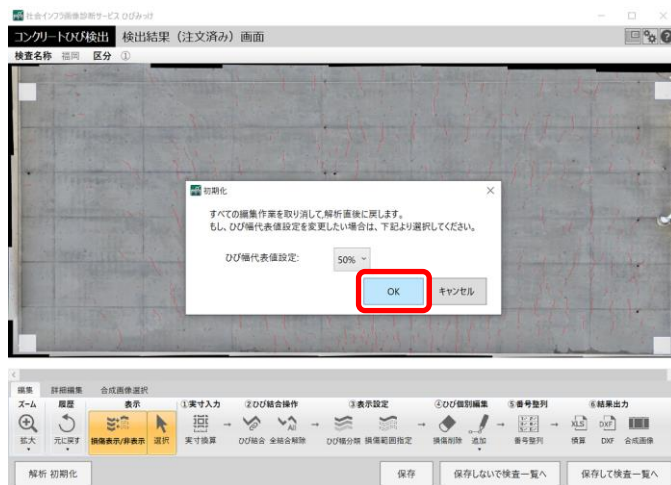
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-4. ひび幅代表値設定の変更

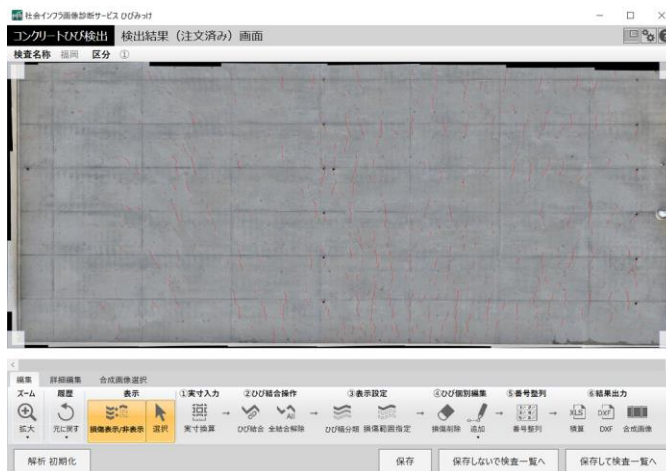
「OK」ボタンを選択する



↓ 処理中（数分かかります）



設定したひび幅で表示されます



7

操作ヒント

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

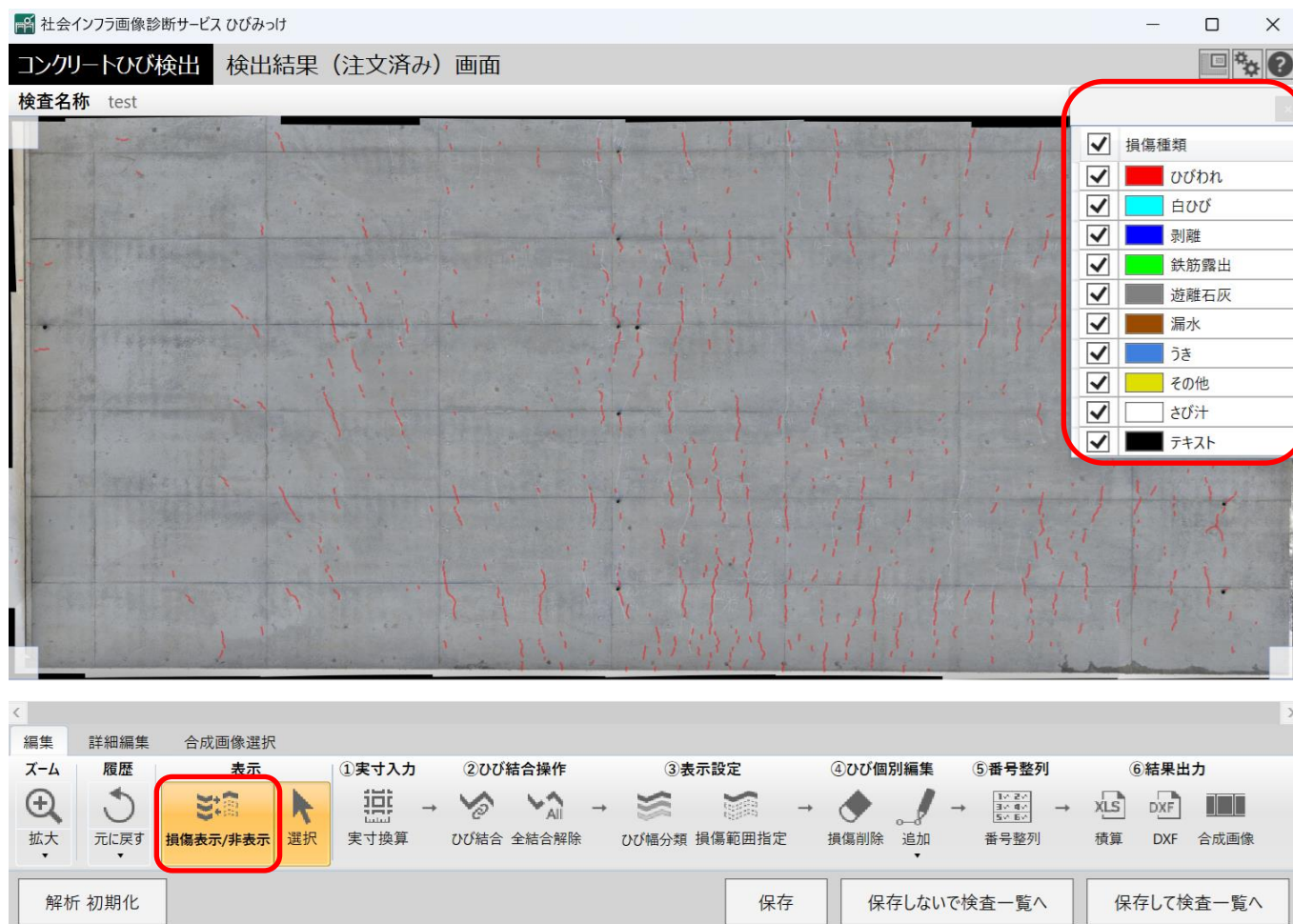
5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

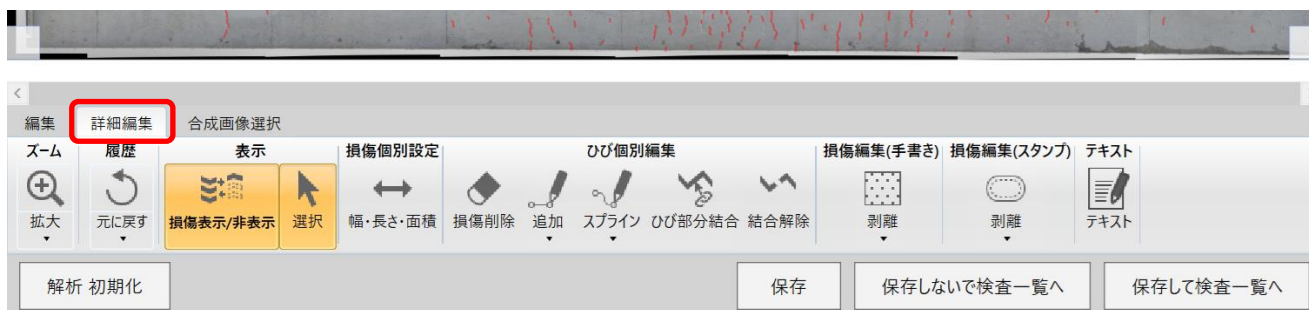
7章-5. 損傷表示設定

検出結果(注文済み)画面で、損傷毎に表示/非表示を設定することができます。各損傷毎のチェックボックスにチェックがついていない場合は、「CAD(DXF)」や「合成画像(JPG)」にも出力されないため、ご注意ください。



7章-6. 詳細編集パネル

検出結果（注文済み）画面では、詳細編集パネルも用意されています。
細かな編集をご希望の場合は、こちらの機能も、ぜひご活用ください。



0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

No.	項目名	説明
1	損傷個別設定	選択した損傷やチョークの幅・長さ・面積を設定します。
2	ひび個別編集（損傷削除）	選択した損傷を削除します。
3	ひび個別編集（追加）	ひびや白ひび追加モードにします。このモードにすると、画像内にひびわれ線や白ひび線を付けることができます。
4	ひび個別編集（スプライン）	ひびや白ひび追加モード(スプライン曲線)にします。このモードにすると、画面内に曲線をつけることができます。 ダブルクリックで描画を完了できます。
5	ひび個別編集（ひび部分結合）	選択したひびわれを強制的に結合することができます。 白ひびは結合されません。
6	ひび個別編集（結合解除）	強制的に結合したひびわれを解除することができます。
7	損傷編集（手書き）	画像内に損傷図形（任意形状）を追加します。
8	損傷編集（スタンプ）	画像内に損傷図形（楕円形状）を追加します。
9	テキスト	テキストが入力できるようにします。

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-7. ショートカットキー

検出結果（注文済み）画面でのショートカットキーをご紹介します。
便利ですので、ぜひご活用ください。

No.	ショートカットキー	説明
1	F3	ひびわれなどの損傷表示・非表示切り替え
2	F5	画像の再読込
3	F7	ひび部分結合
4	F8	ひび結合解除
5	Ctrl (or Shift) + クリック	(選択ツール時)ひびわれなどの損傷の追加選択
6	Shift + ドラッグ	(選択ツール時)ひびわれなどの損傷の矩形選択
7	Ctrl + ドラッグ	矩形ズーム。選択した領域を拡大。
8	DELETE	選択したひびわれなどの損傷の削除
9	Ctrl + R	4 隅の四角のマークを初期位置にリセット
10	Ctrl + Z	直前の動作を取り消します
11	Ctrl + Y	直前の動作を繰り返します

0. はじめに

1. 実寸入力

2. ひび結合操作

3. 表示設定

4. ひび個別編集

5. 番号整列

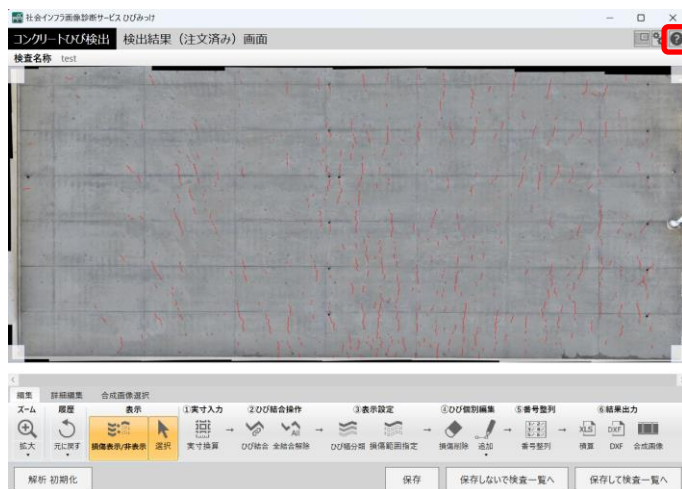
6. 結果出力

7. 操作ヒント

7章-8. お問い合わせ

ソフトウェアを操作中に、エラーが発生した際は、「お問い合わせ情報の送信」ボタンを押してから、弊社にお問い合わせを頂くと迅速なサポートが可能となりますので、ご協力をお願いします。

? ボタンを押す



「お問い合わせ情報の送信」ボタンを押す



「はい」ボタンを押す

